

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第22期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	コムシード株式会社
【英訳名】	CommSeed Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 坂入 万弘
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地
【電話番号】	(03)5289-3111(代表)
【事務連絡者氏名】	経営管理部ゼネラルマネジャー 小倉 誠
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地
【電話番号】	(03)5289-3114
【事務連絡者氏名】	経営管理部ゼネラルマネジャー 小倉 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第1四半期 累計期間	第22期 第1四半期 累計期間	第21期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	267,420	196,980	926,871
経常利益又は経常損失( ) (千円)	5,854	67,026	55,314
四半期純利益又は四半期(当期)純損失( ) (千円)	4,540	67,599	87,932
持分法を適用した場合の投資利益(千円)			
資本金(千円)	568,883	568,883	568,883
発行済株式総数(株)	37,500	37,500	37,500
純資産額(千円)	614,122	454,050	521,650
総資産額(千円)	868,382	578,961	692,900
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額( ) (円)	121.61	1,810.67	2,355.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)			
1株当たり配当額(円)			
自己資本比率(%)	70.7	78.4	75.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、当社は持分法を適用する関連会社がないため記載しておりません。

4. 第21期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 第22期第1四半期累計期間及び第21期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期累計期間には、国内においてスマートフォンの普及が一層進む中、SNSプラットフォーム向けのソーシャルゲーム市場が引き続き拡大を続けており、当社にとっては追い風となっております。一方で平成24年5月にはいわゆる「コンプガチャ」が景品表示法の給合わせに該当するとの見解が消費者庁より発表され、業界全体として消費者保護、市場の健全性を主眼に置いたさらなるシステム改善が求められる状況となっております。

このような状況のもと、当社ではモバイル端末向けのソーシャルゲームを中心とした事業展開を進めており、当四半期では、本年1月にサービスを開始した「グリパチ」を全キャリア対応、「不思議の森のパン工房」の対応プラットフォーム増加など、既存サービスの拡充に努めるとともに、新規サービスの開発を推し進めてまいりました。また、当社では直接的に「コンプガチャ」問題によって大きな影響を受けるアプリはないものの、本件を受け、既存・新規サービスともに、より利用者の視点に立ったゲーム内容へのブラッシュアップを実施しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、従来のフィーチャーフォン向け携帯公式サイト売上の落ち込みと、ソーシャルゲームの新たなサービスに向けた開発費の増加により、売上高は196,980千円（前年同期比26.3%減）、営業損失68,159千円（前年同期は営業利益5,869千円）、経常損失67,026千円（前年同期は経常利益5,854千円）、四半期純損失67,599千円（前年同期は四半期純利益4,540千円）となりました。

報告セグメントの業績及び事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

なお、前事業年度より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の報告セグメントに組み替えて行っております。詳細は、「第一部「企業情報」第4「経理の状況」1「四半期財務諸表」注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

#### (モバイル事業)

ソーシャルゲームについては、4月にGREE株式会社が展開する「GREE」で展開中のバーチャルホール「グリパチ」の全キャリア対応が完了し、新規のパチンコ・パチスロを投入しました。これらにより6月末の登録者数が38万人に達しています。また、「不思議の森のパン工房」が、6月に「GREE」スマートフォン版にてサービスを開始しました。これらの既存サービスの拡充と新規サービスの開発を推し進めたことにより、開発費は増加いたしました。

スマートフォン関連については、4月よりiOS搭載スマートフォン向けに、スロットアプリ「キャッツアイ-恋ふたたび」の提供を開始しました。また5月よりAndroid OS搭載スマートフォン向けにスロットアプリ「ねえ～ねえ～島娘」の提供を開始しました。また、当第2四半期に投入予定の新規タイトルの開発を進めました。

フィーチャーフォン向け携帯公式サイトについては、ユーザーのスマートフォン移行により、売上が減少傾向であることから既存ユーザーの継続利用に向け、当社オリジナルのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」において、パチンコ・パチスロの機種情報やそれらの攻略情報のさらなる充実化に取り組みました。また、メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行い、サービスの拡充に取り組みました。

パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）のラインナップ拡充、全国店舗への営業体制の強化を行いました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は189,849千円（前年同期比29.0%減）、営業損失は16,555千円（前年同期は営業利益53,937千円）となりました。

(その他事業)

トライアル事業としてスタートさせたPC用オンラインゲーム「ダークエデン」については、他社とのタイアップ企画や新しい広告手法の取り組みにより、認知度向上とマーケティング体制の強化に努めました。

しかしながらこれらの取り組みは当第1四半期からの開始であり、実施効果を見極めるための小規模かつテスト的なものであったため売上向上には結びつかず、利益を獲得するには到りませんでした。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は7,131千円（前年同期はありませんでした。）、営業損失は6,940千円（前年同期はありませんでした。）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000
計	120,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	37,500	37,500	名古屋証券取引所 (セントレックス)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	37,500	37,500	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		37,500		568,883		

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 166		
完全議決権株式(その他)	普通株式 37,334	37,334	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
発行済株式総数	37,500		
総株主の議決権		37,334	

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
コムシード株式会社	東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地	166		166	0.44
計		166		166	0.44

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、霞が関監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	319,200	225,587
売掛金	123,947	117,940
商品及び製品	7,954	7,157
原材料及び貯蔵品	7,246	6,168
その他	92,404	87,715
貸倒引当金	19	8
流動資産合計	550,732	444,560
固定資産		
有形固定資産	40,825	37,538
無形固定資産	29,939	26,839
投資その他の資産		
その他	111,782	110,403
貸倒引当金	40,380	40,380
投資その他の資産合計	71,402	70,022
固定資産合計	142,167	134,400
資産合計	692,900	578,961
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	55,818	55,357
未払法人税等	3,101	942
その他	78,855	35,596
流動負債合計	137,775	91,895
固定負債		
退職給付引当金	11,538	11,258
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	2,606	2,427
固定負債合計	33,474	33,014
負債合計	171,249	124,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	568,883	568,883
利益剰余金	29,877	97,477
自己株式	17,355	17,355
株主資本合計	521,650	454,050
純資産合計	521,650	454,050
負債純資産合計	692,900	578,961



(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	267,420	196,980
売上原価	163,387	152,593
売上総利益	104,032	44,387
販売費及び一般管理費	98,162	112,547
営業利益又は営業損失( )	5,869	68,159
営業外収益		
受取利息	18	10
業務受託料	-	1,125
その他	1	1
営業外収益合計	20	1,137
営業外費用		
支払利息	36	4
営業外費用合計	36	4
経常利益又は経常損失( )	5,854	67,026
特別損失		
本社移転費用	1,076	-
特別損失合計	1,076	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	4,777	67,026
法人税、住民税及び事業税	237	572
法人税等合計	237	572
四半期純利益又は四半期純損失( )	4,540	67,599

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響はありません。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	3,932千円	6,604千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

当社は、携帯電話等のモバイル端末向けコンテンツの企画・制作・配信と関連するサービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	モバイル事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	189,849	7,131	196,980	-	196,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	189,849	7,131	196,980	-	196,980
セグメント利益又は損失( )	16,555	6,940	23,496	44,663	68,159

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額 44,663千円は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社は、従来モバイル事業の単一セグメントとしておりましたが、前事業年度より当社の取締役会にて、PC用オンラインゲーム事業をトライアルとして実施すべく、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討を行う対象として追加したことで、報告セグメントを「モバイル事業」と「その他事業」に区分変更しております。

なお、当該変更を反映した前第1四半期累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	モバイル事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	267,420	-	267,420	-	267,420
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	267,420	-	267,420	-	267,420
セグメント利益又は損失( )	53,937	-	53,937	48,067	5,869

(注)1.セグメント利益又は損失( )の調整額 48,067千円は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )	121円61銭	1,810円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	4,540	67,599
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純 損失金額( )(千円)	4,540	67,599
普通株式の期中平均株式数(株)	37,334	37,334

(注)1.前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2.当第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月9日

コムシード株式会社  
取締役会御中

### 電 関 監 査 法 人

指 定 社 員      公 認 会 計 士      森 内 茂 之 印  
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員      公 認 会 計 士      渡 邊 誠 印  
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコムシード株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第22期事業年度の第1四半期会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、コムシード株式会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。